

活動報告

創作ワークショップ いろ かたち 色と形であそんでみよう



ミロの作品を鑑賞しましょう。
きれいな色をたくさん使っているね。



わあ。
こんなに大きな紙に描くの？



折り紙を好きな形にちぎって、はりつけよう。
星も作ろうかな？



ローラーに黒い絵の具をつけて、転がしてみよう。
ミロの黒い線に負けないぞ！

特別展『スペインの巨匠 ミロ展』にちなむワークショップ第2弾は、創作ワークショップ「色と形であそんでみよう」でした。比治山大学・呉市立美術館連携講座の一環として、講師に比治山大学短期大学部幼児教育科准教授の久保田貴美子先生をお迎えしました。

まず、ミロ展をじっくりと鑑賞しました。ミロの「太陽」「星」「月」「鳥」など身近なモチーフが、赤・青・黄・緑などの原色を用いてユニークな形で描かれていることや、力強い黒い線が印象的だったようです。

鑑賞後、ミロの作品にさまざまなインスピレーションを得た子どもたちが、共同で作品づくりに挑戦しました。

白い大きな模造紙に、カラフルな折り紙をちぎって貼り付けます。星の形や太陽の形を作ったり、大きくちぎったり、小さくちぎったりして、真っ白い紙がカラフルに彩られていきました。次に、黒い水彩絵の具をつけたローラーを転がして黒い線を描きます。手や足にインクをつけて、手形や足形をつける子も！さらに、黒いクレパスを使ってミロの「星」も描きました。

小学生から3歳までの参加者が共同制作した作品は、ミロにも負けない迫力のあるものになり、会期中、美術館で展示されました。

[* 教育普及のページに戻る *](#)

Copyright©Kure Municipal Museum of Art all rights reserved.